

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第132号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年3月13日 12時45分ごろ	
発生場所	大分県佐伯市灘内漁港猪串地区 屋形島洲ノ鼻消波提灯台から真方位 334° 1.5海里付近 (概位 北緯32° 48.1′ 東経131° 53.8′)	
事故等調査の経過	平成22年8月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 第二十一栄進丸^{えいしんまる}、70トン 129409、豊予汽船株式会社</p> <p>B バージ 第二十一栄進丸^{えいしんまる}、約1,051トン なし、豊予汽船株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、五級海技士（航海）</p> <p>B なし</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A なし</p> <p>B 右舷船尾船底外板凹損、右舷船首船底外板凹損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長ほか5人が乗り組み、砂利を採取して船首約4.8m、船尾約5.0mの喫水となったB船を押し、灘内漁港猪串地区で揚荷のため着岸作業中、平成22年3月13日12時45分ごろ、B船の船底部分が岸壁脇の岩礁に接触した。</p> <p>A船は、B船に浸水も、そのほかの異常もなかったため揚荷を完了して通常の航海を続けた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p>	
その他の事項	平成22年4月26日に造船所で上架した際、B船の船底に凹損が発見された。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、砂利満載のB船を押し、灘内漁港猪串地区において着岸作業中、岸壁脇の岩礁に接近したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、A船が、砂利満載のB船を押し、灘内漁港猪串地区において着岸作業中、岸壁脇の岩礁に接近したため、B船が岩礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	